

スコアシート		重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目		重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能										2.9
Q-1 室内環境							0.40			3.1
1 音環境						2.2	0.15	3.2	1.00	2.9
1.1 騒音						1.0	0.40	3.0	0.29	
1 1 暗騒音レベル						1.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策										
1.2 遮音						3.0	0.40	3.5	0.50	
1 1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					D-50以上の乾式耐火間仕切り壁を採用			4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					LL45以上の性能の床仕上げ材を採用			4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境						1.0	0.35	3.4	1.00	2.8
2.1 室温制御						1.0	0.71	3.8	0.50	
1 室温設定								3.0	0.60	
2 負荷変動・過渡制御性										
3 外皮性能		W			省エネルギー等級4を満足している	1.0	1.00	5.0	0.40	
4 ゾーン別制御性										
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空調に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御						1.0	0.29	3.0	0.20	
2.3 空調方式								3.0	0.30	
3 光・視環境						2.4	0.25	3.0	1.00	2.8
3.1 昼光利用						3.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光率										
2 方位別開口								3.0	0.60	
3 昼光利用設備		W				3.0	1.00	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.50	
1 照明器具のグレア										
2 昼光制御		W				1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15			
1 照度						3.0	1.00			
2 照度均斉度										
3.4 照明制御						3.0	0.25			
4 空気質環境						3.8	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策						5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学物質汚染					仕上げ材はF☆☆☆☆を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学物質対策										
3 デコ・カビ等										
4 レジオネラ対策										
4.2 換気						2.0	0.40	2.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.50	
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.50	
4 給気計画										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q-2 サービス性能							0.30			3.5
1 機能性						3.0	0.40	4.5	1.00	4.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.60			
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画						3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						3.0	0.40	4.5	1.00	
1 広さ感・景観					居室の天井高さ2.5m以上を確保			4.0	0.50	
2 リフレッシュベース										
3 内装計画					コンセプトを明確にベース等により事前検証	3.0	1.00	5.0	0.50	
2 耐用性・信頼性						2.6	0.31			2.6
2.1 耐震・免震						3.0	0.48			
1 耐震性						3.0	0.80			
2 免震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						2.5	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		W				2.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		W				2.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔		W				3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔		W				3.0	0.29			
2.3 適切な更新										
1 床・(屋根)・外壁仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性						1.8	0.19			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20			
5 通信・情報設備						1.0	0.20			

スコアシート			重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理						
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.6	0.29	4.0	1.00	3.9
3.1 空間のゆとり					-	-	4.0	1.00	
1 階高のゆとり				階高2.9m以上を確保	-	-	4.0	1.00	
2 空間の形状・自由さ					-	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり					-	-	-	-	
3.3 設備の更新性					3.6	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性				構造部材を痛めることなく修繕・更新できる	3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性				主要設備機器更新のルートが確保され、更新時に建物機能が維持できる	5.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		G			1.0	0.40	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.4
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.4
1 建物の熱負荷抑制	W			省エネ等級4を満足している	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			効率の良い配灯計画としている	4.7	0.40	-	-	4.7
4 効率的運用					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	W				3.0	-	-	-	-
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					1.8	0.15	-	-	1.8
1.1 節水	W				1.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.2	0.85	-	-	3.2
2.1 資源の再利用効率					3.6	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W			内外装材の一部(断熱材)に再生建材を採用	3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				5.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料					3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W				-	-	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.3
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					1.6	0.10	-	-	1.6
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				光害対策ガイドラインの一部を満たし、且つ、広告塔なし	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.40	-	-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制			S		3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	—	—	—	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		7,336 m2	—	—	—	5.0
3 設備システムの ERRIによる評価		—	—	—	—	4.7
高効率化 個別設備による評価		4.7	—	—	—	
3.1 空調設備		—	—	—	—	—
3.2 換気設備		—	—	—	—	—
3.3 照明設備		5.0	—	—	—	—
3.4 給湯設備		—	—	—	—	—
3.5 昇降機設備		3.0	—	—	—	—